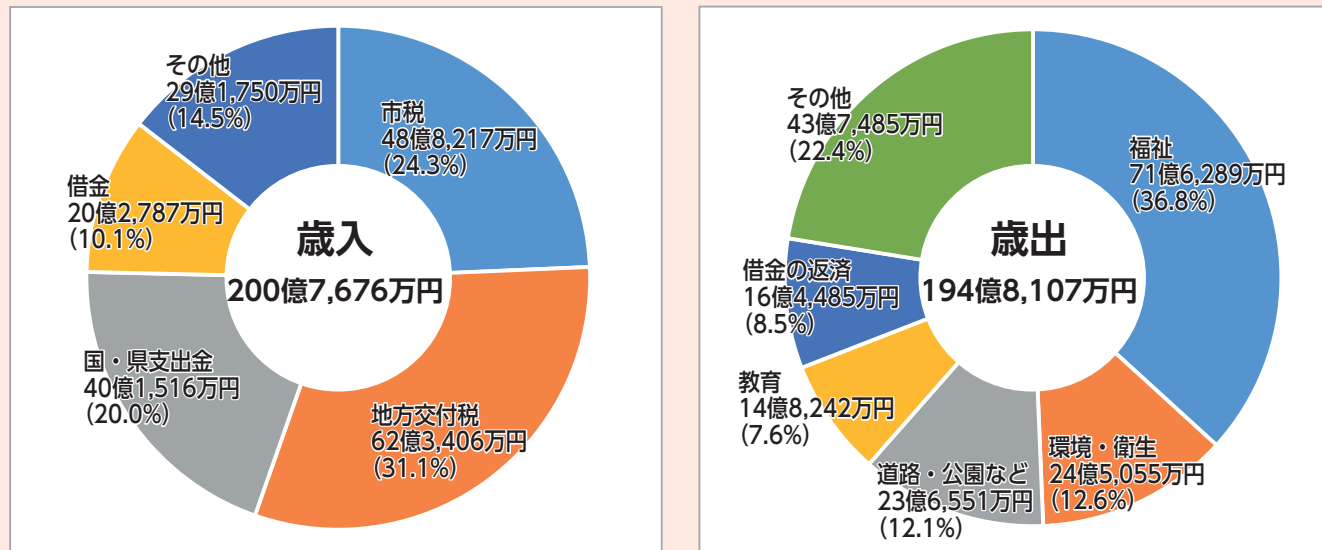


西脇市の平成28年度決算

西脇市の平成28年度決算がまとまりましたので、一般会計、特別会計、企業会計の状況についてお知らせします。また、基金や市債の残高、健全化判断比率についても公表します。

■問合せ 財政課（市役所内線387）

一般会計の状況



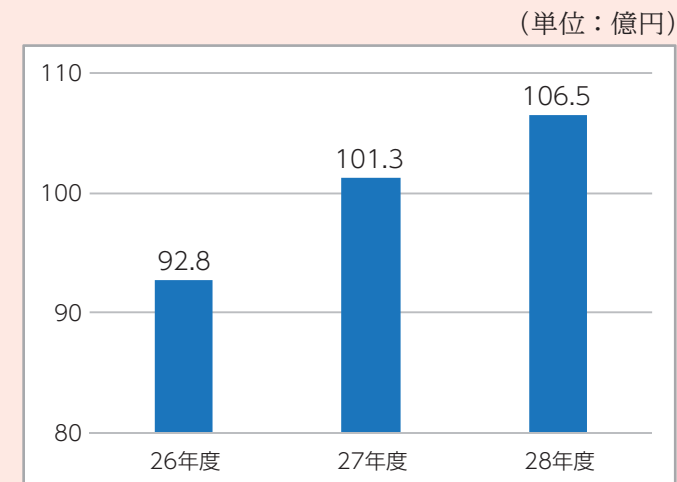
収支のバランス（会計別決算）

会計	歳入	歳出	差し引き	
一般会計	200億7,676万円	194億8,107万円	5億9,569万円	
特別会計	国民健康保険	56億3,115万円	55億7,026万円	6,089万円
	学校給食センター	3億784万円	3億784万円	0円
	老人保健施設	4億9,743万円	4億9,743万円	0円
	公営墓地	3,733万円	3,733万円	0円
	介護保険	42億8,092万円	42億950万円	7,142万円
	茜が丘宅地供給事業	4,984万円	4,984万円	0円
	後期高齢者医療	5億4,339万円	5億2,869万円	1,470万円
	太陽光発電事業	7,063万円	7,063万円	0円
企業会計	水道事業	11億7,295万円	11億5,657万円	1,638万円
	下水道事業	21億7,524万円	21億7,500万円	24万円
	病院事業	81億8,114万円	81億7,540万円	574万円

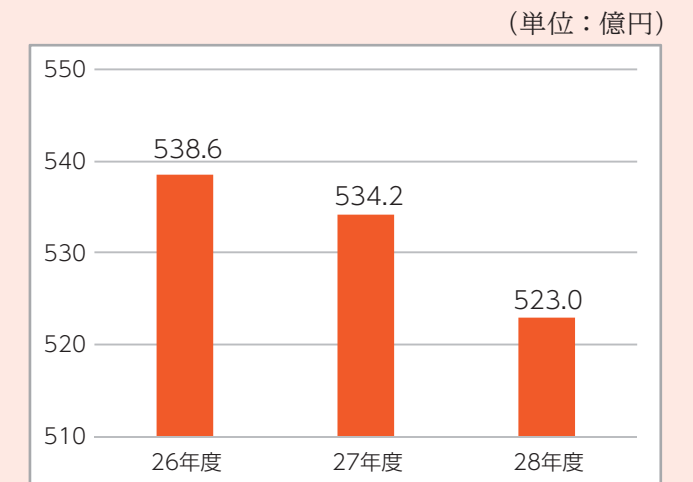
平成28年度一般会計では、歳入総額200億7,676万円、歳出総額194億8,107万円で、翌年度へ繰り越すべき財源の8,993万円を差し引いた**5億576万円の黒字**となりました。

市の預金と借金

◆預金（基金残高）



◆借金（市債残高）



平成28年度末の預金（基金）残高は106億4,528万円となり、平成27年度に比べて5億1,131万円の増加となりました。一方、借金（市債）残高は523億325万円となり、平成27年度に比べて11億2,014万円の減少となりました。借金（市債）残高のうち、合併特例債で70%、臨時財政対策債で100%が交付税措置されます。一般会計の借金（市債）残高196億2,878万円のうち、**実質的な市の負担額は約60億円**となります。

■一般会計の借金（市債）残高 約196億円

合併特例債や緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債で国の交付税措置

市の実質的負担 約60億円

財政状況（健全化判断比率）

項目	平成28年度決算	この数値を超えるとイエローカード	この数値を超えるとレッドカード
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.08%	20.00%
連結実質赤字比率	—	18.08%	30.00%
実質公債費比率	8.4%	25.00%	35.00%
将来負担比率	10.1%	350.00%	—

自治体の財政状況を示す「健全化判断比率」では、「健全段階」、「早期健全化段階」、「財政再生段階」の3段階に区分されます。

西脇市は平成28年度決算において、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の**いずれの指標も前年に引き続き「健全段階」となっています**。また、企業会計においても資金不足は発生していません。

西脇市は **健全財政を維持** しています